

東北地方 1か月予報

(7月19日から8月18日までの天候見通し)

平成15年7月18日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

少なくとも7月中は気温が低く、日照が少ない状態が続く見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

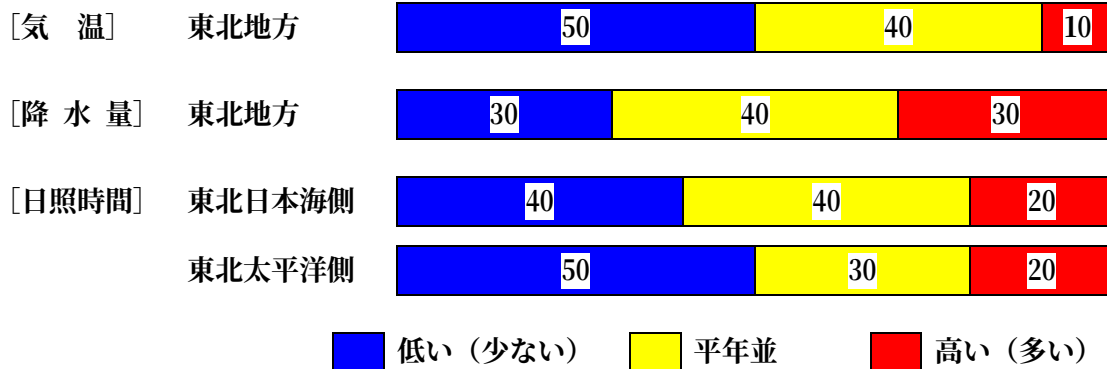
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

前線やオホーツク海高気圧の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多いでしょう。

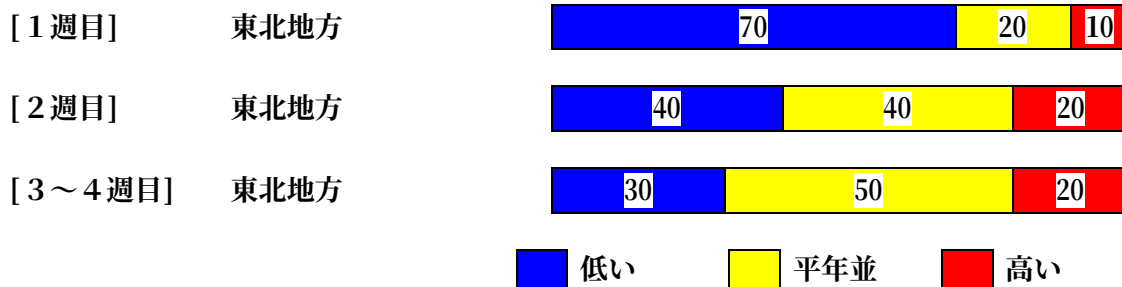
向こう1か月の気温は低い、降水量は平年並、日照時間は東北日本海側は平年並か少ない、東北太平洋側は少ないでしょう。

週別の気温は、1週目は低い、2週目は平年並か低い、3～4週目は平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 7月19日(土)～8月18日(月)
1週目 : 7月19日(土)～7月25日(金)
2週目 : 7月26日(土)～8月1日(金)
3～4週目 : 8月2日(土)～8月15日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は7月25日
3か月予報: 7月24日(木) 14時00分

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30年平均値（向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温）

	気 温 (℃)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(℃)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
大船渡	22.9	149.5	169.6	21.8	23.0	23.3
新庄	24.0	156.4	185.5	23.2	24.3	24.4
若松	24.9	132.4	204.2	24.2	25.2	25.2
深浦	23.2	142.0	192.5	22.3	23.4	23.5
青森	23.1	111.8	194.0	22.0	23.3	23.5
むつ	21.6	112.3	162.0	20.5	21.8	22.1
八戸	22.3	111.3	182.9	21.2	22.6	22.8
秋田	24.6	156.6	200.5	23.7	24.8	24.9
盛岡	23.4	156.6	164.9	22.6	23.7	23.7
宮古	22.1	134.5	171.4	20.8	22.2	22.5
酒田	25.0	151.9	217.8	24.1	25.2	25.3
山形	24.9	132.5	187.6	24.1	25.2	25.1
仙台	24.0	144.1	156.7	22.9	24.2	24.4
石巻	23.3	106.4	177.7	22.2	23.3	23.7
福島	25.3	130.4	162.7	24.3	25.6	25.6
白河	23.4	182.1	158.1	22.7	23.7	23.6
小名浜	23.5	109.2	192.8	22.5	23.4	23.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6～+0.7	74～ 119	90～ 111
東北日本海側	-0.6～+0.5	76～ 115	91～ 112
東北太平洋側	-0.4～+0.7	74～ 121	90～ 112

（３）この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.7～+1.1	-0.5～+1.2	-0.5～+0.8
東北日本海側	-0.7～+1.0	-0.6～+1.1	-0.6～+0.8
東北太平洋側	-0.7～+1.3	-0.5～+1.3	-0.5～+0.9

＜参考資料（利用上の注意）＞

- （１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率60％の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに33％）から大きく隔たった確率（10％や60％、70％など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成 15 年 7 月 18 日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう 1 か月(7 月 19 日～8 月 18 日)：

前線やオホーツク海高気圧の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多いでしょう。
平均気温は低いでしょう。

1 週目(7 月 19 日～7 月 25 日)：

気圧の谷や前線の影響で曇る日が多く、期間の初めは雨の降る日もあるでしょう。
平均気温は低いでしょう。農作物の管理には十分注意してください。

2 週目(7 月 26 日～8 月 1 日)：

前線やオホーツク海高気圧の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多いでしょう。
平均気温は平年並か低いでしょう。

3～4 週目(8 月 2 日～8 月 15 日)：

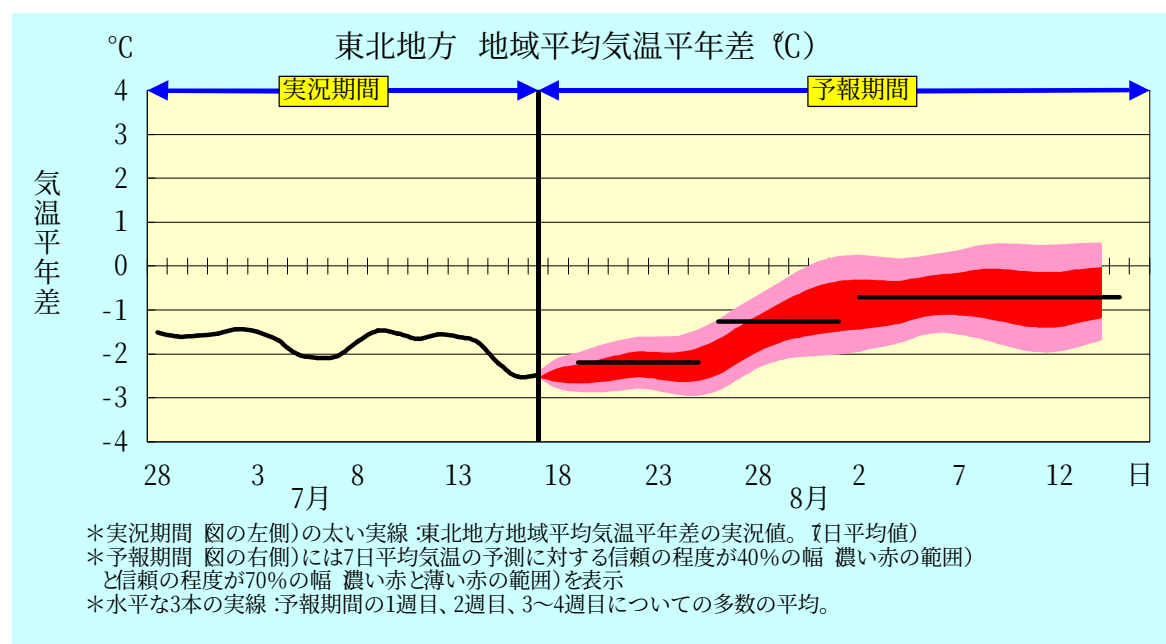
天気は概ね周期的に変わりますが、低気圧や前線の影響でぐずつく時期もあるでしょう。
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	16.5 日	3.9 日	4.0 日	8.6 日
東北太平洋側	14.6 日	3.3 日	3.6 日	7.7 日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

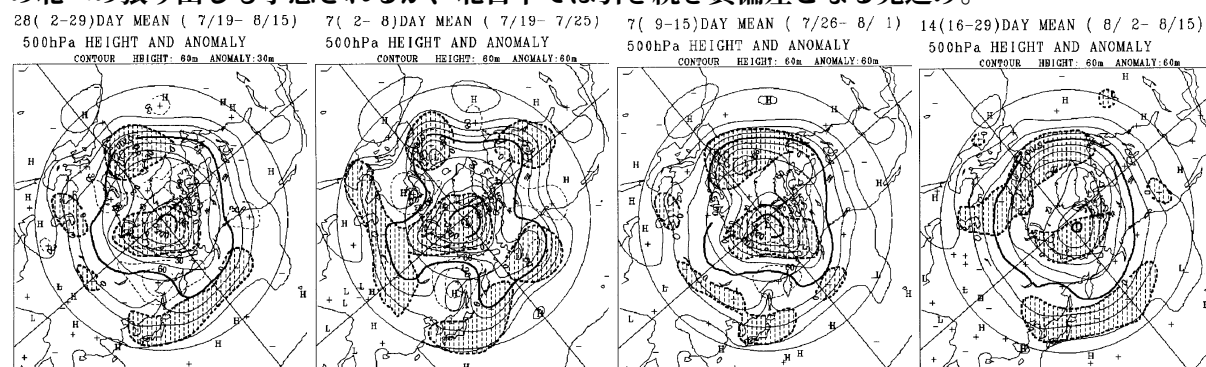
数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目とも「低い」を予測している。予報は、その他の資料から 2 週目を「平年並か低い」、3～4 週目を「平年並」に変更する。なお、数値予報の信頼度は小さい。



3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想 500hPa 高度と偏差：

月平均では、沿海州北部に気圧の尾根が予想され、極東高緯度の正偏差は強い。太平洋高気圧は西へ張り出すが、北への張り出しは弱い。日本付近は負偏差に覆われ、平年に比べ曇りの日が多い見込み。

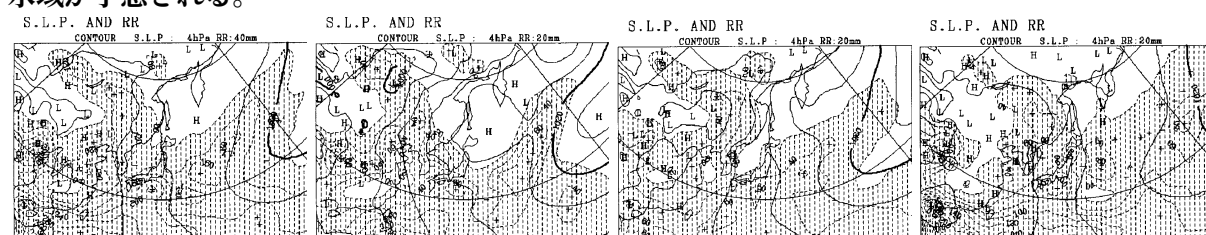
週別に見ると、1 週目はオホーツク海の気圧の尾根が明瞭。太平洋高気圧の北への張り出しは弱く、日本付近は負偏差。2 週目もオホーツク海の気圧の尾根は残る。3～4 週目は太平洋高気圧の北への張り出しも予想されるが、北日本では引き続き負偏差となる見込み。



地上気圧と降水量：

月平均では、オホーツク海に高压部、本州上には低压部が東西にのび、本州南岸を中心に降水域が予想される。太平洋高気圧は南偏傾向。

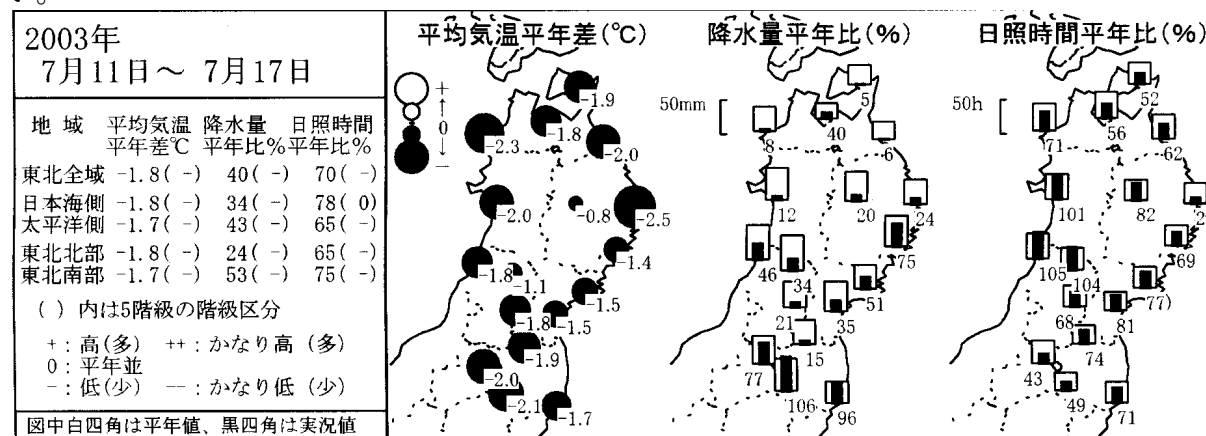
週別に見ると、1～2 週目はオホーツク海に高压部が予想される。本州付近は 1 週目は低压部となり、本州南岸を中心に降水域が予想されるが、2 週目はやや弱まる。3～4 週目は本州付近に降水域が予想される。



4. 最近 1 週間（7 月 11 日～7 月 17 日）の天候の経過

11日は低気圧や梅雨前線の影響で、東北南部を中心に雨となった。12日以降、梅雨前線は日本の南岸まで南下したが、東北地方は上空に寒気を伴った気圧の谷が次々と通過したため、曇りの日が多く、弱い雨の降った日もあった。16日以降、東北太平洋側では北部を中心に冷たく湿った東よりの風の影響を受けて気温が低く、日照時間が少なくなった。

平均気温は低い。降水量は少ない。日照時間は、東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）